

【根室地域（歯舞地区）】

地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み

●第 14 回こんぶ祭りの開催について（継続事業）

(1) 水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）			関連資料	
地域 MV における取組の位置付け	【目指す姿】 ・ 漁村・地域の総合的な振興 【ビジョン実現のための主な取り組み】 ・ 全国への情報発信及び都市との交流・賑わいのある漁村地域づくり	取組場所	第 14 回こんぶ祭りの様子	
				
現状における取組実施の背景	例年、歯舞地区では、地域振興の意味合いも兼ねて催事を執り行っており、長らく新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となっていたが、今年度、4 年ぶりに開催された。本催事では、恒例となっているわんこ昆布そば早食い大会のイベントや、地元の歯舞学園生徒らによるよさこいソーラン、地元ダンスグループの「Our Beat」によるダンスショーなどの催し物のほか、パノラマクルーズ（遊覧船）の運航や大抽選会など、会場は大いに盛り上がった。 催事に関しては、今後とも地域の活性化を目指し、地元漁業者、女性部との連携、更には根室市の企業がー丸となって歯舞地区の認知度向上も兼ねて、継続的な実施をしていく。		会場の様子	
			会場の様子②	
取組により期待する効果	・ 催事開催による歯舞地域の認知度の向上及び交流人口の増加。 ・ 漁村地域の活性化。		昆布漁体験の様子	
			パノラマクルーズの様子	
(2) 取組内容・実施体制（Do）				
取組内容、方法、手順、実施体制	【取組内容、方法、手順】 開催内容 1. 昆布漁体験 2. 女性部による昆布製品販売 3. 各部会等による海産物販売 4. 棹前昆布の量り売り 5. はばまい昆布しょうゆや液体調味料の販売 6. パノラマクルーズ（遊覧船） 7. わんこ昆布そば大会 8. 大抽選会 9. いわしロール寿司の提供 10. 歯舞学園生徒らによるよさこいソーラン 11. こんちはる（ものまね歌手）による歌謡ショー 12. 地元ダンスグループ「Our Beat」によるダンスショー 13. 根室市内の飲食店の展開 14. 餅まき	歯舞学園によるよさこいソーラン		
			地元ダンスグループによるダンスショー	
		棹前昆布量り売りの様子		
		餅まきの様子		
				

(3) 効果項目に対する評価 (Check)	
効果目標の達成度評価	・地元はもとより、根室市内外より約 3,000 人の来場となり、道外ナンバーのキャンピングカーも見受けられ、大盛況となった。
反省点	・天候状況が良かったため、全イベントが滞りなく開催できたが、海況や天候によっては遊覧船の欠航や屋外開催ができなくなるため、代替案を立案しておく必要がある。 ・例年、8 月開催となったが、根室市の催事と重なり、音響機材の調達ができなかったことから、9 月開催となった。
(4) 取組の改善措置 (Action)	
取組内容の改善点	・チェックリストを作り、事前準備等の取りこぼしがないよう、可視化する事で体制に不備がないように行った。
取組の実施に必要なもの	・来場者への飲食提供規模や当日の人員配置等を継続して検討する必要がある。

駐車場に多くのキャンピングカーが停まっている様子



●昆布漁業体験インターンシップ制度の確立に向けたモニタリング事業

(1) 水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）		関連資料	
地域 MV における取組の位置付け	【目指す姿】 ・漁村・地域の総合的な振興 【ビジョン実現のための主な取り組み】 ・若年層への水産業に対する意識高揚 ・担い手・労働力の確保（漁業の軽労化） ・都心部と地域の交流（交流人口の拡大）	取組場所	
			
現状における取組実施の背景	歯舞地区の大宗漁業である昆布漁の漁家では、漁業従事者の高齢化並びに担い手不足が顕著となり、昆布作業全般に係る労力が重荷となっている。 こうした中、歯舞組合に対し昆布漁家より、これら課題を解消するための相談が多数寄せられたことから、課題解決に向けて根室市と協議を実施したところ、根室市と東海大学静岡キャンパスとの相互協力協定に基づく地域振興の研究テーマとして、令和5年2月に根室市・東海大学静岡キャンパス・歯舞地区マリンビジョン協議会の3者で協議を行い、歯舞漁協が計画している観光・滞在型の渚泊体験事業と東海大学静岡キャンパスが実施する就労型インターンシップを融合させた新たなインターンシップ制度として、昆布漁家は学生を受け入れるために食事・寝床を確保し、学生は、インターンシップの枠組みで一定期間昆布漁家へ住み込み、昆布漁業作業全般を「無報酬」で担う「昆布漁業体験型インターンシップ制度」の取り組みを構想。 その後、同年7月に根室市と歯舞地区マリンビジョン協議会が東海大学静岡キャンパスへ赴き、同キャンパスで開催されたフィールドワークへ参加し、「昆布漁業体験型インターンシップ制度」の確立へ向けたモニタリング事業の実施に際し、事業概要説明、昆布漁業の歴史、根室市が抱える北方領土問題等について参加学生に対し講話を実施し、受講した学生から参加を希望する申し出が寄せられたことから本事業の実施に至ったもの。		
取組により期待する効果	●受入先（漁 家） ・担い手不足に悩む漁家において昆布作業全般にわたり、軽労化・負担軽減が図られる。 ・インターンシップ制度により、賃金を支給することなく労働力を確保することが出来る。 ・担い手不足解消へ向けた一助と成り得る。 ◇大学側（学 生） ・一次産業の現場を最前線で体験することが出来る。 ・インターンシップ期間中の宿泊費、食費等の負担が解消される。 ・漁家宅への滞在型のため、仕事のみならず、人間力を高める契機となる。 ・地域住民と触れ合う機会が増し、地域性や文化・風土を深く学ぶ機会が得られ、見聞を広げることが出来る。		
(2) 取組内容・実施体制 (Do)			
取組内容、方法、手順、実施体制	「昆布漁業体験型インターンシップ制度の確立に向けたモニタリング事業」 (1) 概 要 歯舞地区マリンビジョン協議会が計画している観光・滞在型の「渚泊体験事業」と、東海大学が実施する就労型「インターンシップ制度」を融合させた、地域課題（昆布漁業の軽労化・担い手対策等）の解消の糸口を模索する「新たなインターンシップ制度」の構築・実現に向けて、東海大学生が昆布漁家へ滞在し、昆布漁業作業全般を体験するモニタリング事業を実施。 (2) 実施団体 歯舞漁業協同組合、根室市、東海大学静岡キャンパス、歯舞地区昆布漁家 (3) 実施期間 自：令和5年8月1日（火） 至：令和5年8月4日 3泊4日 (4) 体験内容 ①昆布の積み下ろし作業 ②昆布干し作業 ③昆布の裁断作業 ④歯舞漁協内の昆布倉庫見学 ⑤北方領土学習 (5) 受入人数 3名		
(3) 効果項目に対する評価 (Check)			
効果目標の達成度評価	① 本事業の取り組みにより、受入先である昆布漁家は、昆布作業全般を通じて軽労化が図られたとともに、学生においては、最前線で昆布漁業を体験したことで、漁業や漁業者に対する魅力ややりがいを得ることが出来き、双方にとってメリットが得られる結果となるなど、「昆布漁業体験型インターンシップ制度」の確立へ向け前進した成果が得られた。 ② 本事業を実施後、歯舞地区の昆布漁家に対し、事業実施報告並びに学生の受入の意向調査を実施したところ、大半の漁家が労働力を確保する観点から学生の派遣を求める回答が寄せられるなど、本事業の実施に対する漁家の期待は非常に大きいものとなった。		
反省点	計画通り進捗しており反省点は無い。		
(4) 取組の改善措置 (Action)			
取組内容の改善点	①昆布漁家における労働力・生産性の向上を図る観点からインターン生の受入期間は2週間から3週間が望ましい。 ②令和6年度は、大学側とも連携を密にし、インターン生の受入人数を増やし、少しでも多くの漁家宅へ派遣出来るよう調整する。		
取組の実施に必要なもの	多くの漁家において昆布作業での負担軽減を図るため、学生に対し本事業に対する理解増進を図り、より多くの学生の興味を誘い参加して貰えるよう今後においても積極的なアプローチが必要不可欠である。		

東海大学 静岡キャンパス生徒らによる
昆布漁業体験

一輪車で昆布を運ぶ様子

昆布を干場へ干す様子

昆布の裁断をする様子

講演会の様子

昆布を干す作業動画を
を観る学生達

